

臨時★看護部ニュース

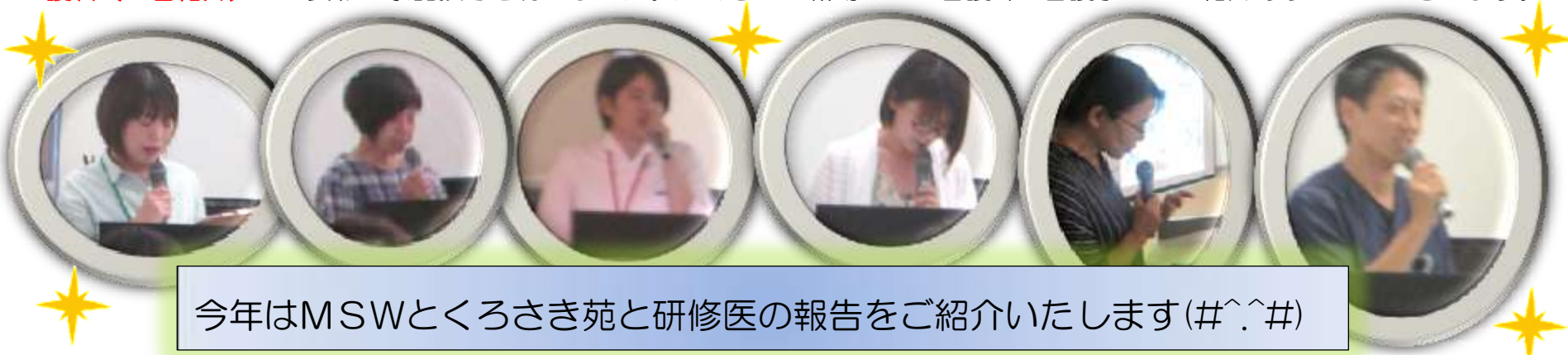
第12回

キラリ看護のつどい



キラリ看護を共有し、全職員の力で看護師紹介をすすめる場として、「キラリ看護のつどい」を9月6日（木）夕方、米の山病院多目的室において開催しました。参加者は77名（看護師63名、他職種14名）。今年度は「MSWよりいつでも親切でよい医療を実践している看護師さんについて」「Aさんと診療所の10年目」「急性期病棟だって退院支援のための自宅訪問、患者さんの退院後の生活のためになにができるのか?」「安心して家で過ごしたい、住み慣れた場所で過ごしたいという思いを大切に・・・24時間365日往診対応できる在宅医療の展開」「くろさき苑より看取り～グリーンケアまで」「研修医からみた看護師さん」など、看護職場だけではなく他の職場からも「キラリ看護」の紹介があり、親仁会の看護師さんの素晴らしいところを再認識できました♡ 報告をして頂いた職員の皆さんありがとうございました。参加者からは「自分の看護を振り返るいい機会になった」「民医連看護って素晴らしい」などの感想がありました。忙しい業務の中でも、患者さん一人ひとりに寄り添う看護をしていることが伝わってきた集会でした。

また、今年度はサプライズ企画として2017年度職員紹介が多かったみさき病院東病棟（5名紹介）と米の山病院外来看護科（5名紹介）への表彰と景品授与を行いました。たくさんの職場からの看護師・看護学生のご紹介ありがとうございます。



今年はMSWとくろさき苑と研修医の報告をご紹介します(#^.^#)

- ◇ 最近来なくなった患者さんのことが気になって家に訪問に行っていたフットワークの軽い師長さん、夜になると不安になる患者さんの話をずっと聞いてくれていた看護師さんたちに出会って見習わなくては・・・と思い、このあったかいチームの一員として仕事ができる嬉しく思っています。看護師さんたちは「自分たちの患者さんを守るんだ!」という気持ちが強く、アンテナを高くはってその患者さんの抱えている課題を見つけ、課題に対して他職種を巻き込んで解決に近づけていきます。これからも一緒にいろんな課題を解決して寄り添っていきたいです。（みさき病院・地域連携室・坂口さん）
- ◇ くろさき苑（介護老人保健施設）では終末期委員会を通じて、看取りの支援を行なっています。施設の看取りは病院とは違い医療行為が限られているため、安らかに苦痛なく過ごせるようにケアを考えています。本人や家族が好まれるケアを提供できるように毎日カンファレンスを実施しています。昨年看取りを行なった84歳男性A氏は慢性腎不全が悪化しADLの低下がみられましたが、寂しくない多床室において小康状態となり、褥瘡や喘鳴なく苦痛症状もなく永眠されました。A氏がお亡くなりになった後でも奥様が職員に会いに来てA氏を懐かしみ、時には笑顔がみられるようになりました。看護師としてその人を尊重し、家族を巻き込みながら看取りをできることはやりがいにもなります。（くろさき苑・通所・北川さん）
- ◇ 最近看護師さんに助けられたことという、66歳慢性呼吸不全の急性増悪のため入院されてきた男性の患者さんのことでした。るい瘦もあり酸素を流して経過観察していた。4日目に受持ちの看護師さんから飲み込みがおかしいとの指摘があったため、セラピストにテストしてもらいました。嚥下障害があり、それからは絶食にしました。その後患者さんはきざみ食を摂取するまでに回復しました。あのときはほんとうに助かりました、ありがとうございます。また、看護師さんはいつも患者さんをよく観察していて大切にされていると感じています。今後ともご協力お願いします。（米の山病院・医局・佐々木先生）